

ボランティアの心得

◆ボランティアとは

自発的に社会活動に参加したり、技術や知識を提供したりする人、またはその活動。社会福祉、教育、環境安全、保険など、社会全般を対象とする。一般的にボランティアの理念として、自分から行動すること、ともに支え合い協力すること、見返りを持たないこと、よりよい社会の実現を目指すことがあげられる。

岡山県青少年教育センター閑谷学校では、当該センターが実施する主催事業やその他の事業において高校生、大学生等によるボランティアの場を提供している。

1. 主催事業ボランティアの基礎

(1) 何のための活動であるか理解しておきましょう。

「活動には責任を持ちましょう」「できることから始めましょう」

「相手の立場に立って考え、行動しましょう」

(2) 活動の内容を理解しておきましょう。

①活動の目的

②スケジュール

(3) 参加者の実態を理解しておきましょう。

①参加対象者

②特に配慮を必要とする子ども

(4) センター職員とコミュニケーションを密に取りましょう。

①子供と関わる中で困ったことや問題があり、対処方法等分からないことがあれば、センター職員に相談しましょう。

②センターからの連絡には必ず返信してください。またやむを得ない欠席なども早めに連絡相談しましょう。

2. 主催事業ボランティアとして注意しておきましょう。

(1) 守秘義務

知り得た情報はすべて外部に漏らさないようにしましょう。(SNS等への投稿×)

活動中にスマホを使用しないようにしましょう。緊急連絡が必要な場合は、センター職員に言ってください。

(2) コンプライアンス

児童・保護者に対してボランティア活動を超え個人的な関わりを持たないようにしましょう。→SNS等での個人情報の伝達、あるいは検索による個人の特特定や交流

(3) その他

主催事業で配布された資料の管理をきちんとしましょう。

参加者も自分自身も健康面・安全面に十分配慮する。決して無理をしないようにしましょう。

(体調が優れない場合は無理をせず、連絡してきてください。)